

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404005 区画整理課事業管理係
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業 電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	008	住宅市街地総合整備事業			
事業期間	平成18年度 ~ 令和 8年度	21	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。
手段	土地区画整理事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	令和 6 年度まで 住宅市街地総合整備事業による老朽建築物等除却、公共施設等整備、仮設住宅等設置、共同施設整備、コミュニティ住宅建設工事等 令和 7 年度以降 仮設住宅の借上げ、コミュニティ住宅の管理

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額
トータルコスト		53,645	8,013	6,593
事業費	事業費	42,925	3,633	4,403
	国庫支出金	15,500	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	12,000	0	0
	その他	4,220	3,607	4,039
	一般財源	11,205	26	364
	人件費計	10,720	4,380	2,190
	正規（人）	1.60	0.60	0.30
その他経費		0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	道路築造延長56.1m 仮設住宅の借上げ1戸 コミュニティ住宅の管理	仮設住宅の借上げ1戸 コミュニティ住宅の管理	コミュニティ住宅の管理

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 42 分 11 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404005 区画整理課事業管理係
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
除却家屋の進捗率（戸数）	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
コミュニティ住宅の累計戸数（建設型・借上げ型）	戸数	0.00 27.00	27.00 27.00	27.00 0.00
追田川プロムナード築造の進捗率（延長ベース）	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	既成市街地の整備であり市自らが事業を実施する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	H18年度に末広・花ノ木から事業促進陳述書が提出されています		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	事業費ベースの進捗率は100%を達成しました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	土地区画整理事業との合併施行を実施しました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	補助金を受けるため基準通りの算定を行いました。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	重点密集市街地として公表された当地区は、狭あいな道路、不整形な過小宅地、密集した木造老朽住宅、既存商店街の活力低下等により防災上の懸念を抱えていたため、土地区画整理事業との合併施行により、居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心で安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進してまいりました。令和 6 年度に本事業における公共施設整備改善が終了し、令和 7 年度以降はコミュニティ住宅等の管理を行っております。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404015 区画整理課組合支援係
事務事業 03492 三河安城駅南土地区画整理支援事業

電話番号 0566-71-2261

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	019	三河安城駅南土地区画整理支援事業			
事業期間	令和 5 年度 ~ 令和13年度	9 年間			
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	普通建設事業費
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	三河安城駅の約 1 km 圏内に位置し、都市計画マスタープランにおいて住居系拡大市街地に位置付けられている三河安城駅南地区について
目的	本地域で増加すると予測される子育て世代などの受け皿として、計画的な基盤整備が行われます。
手段	三河安城駅南土地区画整理組合が実施する土地区画整理事業に対し、市が助成を行うことによって、健全な市街地の発展と秩序ある市街地整備の促進を図ります。
事務内容	土地区画整理事業施行のための専門的知識を有する職員による技術的援助 三河安城駅南土地区画整理組合が実施する対象事業に係る費用に対する補助金の交付

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		201,730	257,470	822,170
事業費		189,000	229,000	801,000
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	600,000
	一般財源	189,000	229,000	201,000
人件費計		12,730	28,470	21,170
	正規（人）	1.90	3.90	2.90
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	三河安城駅南土地区画整理組合の事務に係る支援及び指導	三河安城駅南土地区画整理組合の事務に係る支援及び指導	三河安城駅南土地区画整理組合の事務に係る支援及び指導
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 42 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404015 区画整理課組合支援係
事務事業 03492 三河安城駅南土地区画整理支援事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
事業進捗率（決算額累計 ÷ 総事業費）	%	0.00 3.97	21.42 9.13	44.51 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ		評価の観点		基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
	理由	施行者である組合に対し市が行うべき事務です。				
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
			3	市民ニーズはない又は不明である		
	理由	施行者である組合に対し市が行うべき事務です。				
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		2
			2	目標を下回る進捗状況である		
			3	進捗はかなり遅れている		
	理由	事業計画に合わせ、適切な支援ができています。				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	理由	組合への適切な支援及び指導により、事業費の削減に努めています				
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	理由	組合の事業計画に合わせ、適切な支援ができています。				

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	令和 3 年度の市街化区域編入及び土地区画整理事業の決定を経て、令和 5 年 3 月 3 1 日に三河安城駅南土地区画整理組合の設立が認可されました。令和 8 年度は、組合により建物の移転補償や公共施設の整備工事（雨水管、上下水道、道路、整地、調整池等）が行われる予定です。今後も、引き続き、組合による事業実施が滞りなく進められるよう、技術及び資金の両面から支援してまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 42 分 21 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404015 区画整理課組合支援係
事務事業 03609 道路新設改良（三河安城駅南地区）

電話番号 0566-71-2261

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	018	道路新設改良（三河安城駅南地区）			
事業期間	令和 6年度 ~ 令和11年度	6 年間			
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	道路の利用者が
目的	三河安城駅へアクセスしやすくなり、また、交差点を安全に通行できるようになります。
手段	三河安城駅南土地区画整理組合が実施する土地区画整理事業の進捗に合わせ、事業区域内にある都市計画道路等の整備を進めます。
事務内容	土地区画整理組合への公共施設管理者負担金の支払い 道路及び歩道橋の設計、工事、占用物件移設補償、進捗管理、関連事業者との調整

【コスト】

（単位：千円）

		令和 6 年度 決算額	令和 7 年度 決算額	令和 8 年度 予算額
トータルコスト		4,850	157,940	189,920
事業費	事業費	4,180	157,210	187,000
	国庫支出金	0	72,308	93,500
	県支出金	2,090	0	0
	地方債	0	0	84,000
	その他	0	0	0
	一般財源	2,090	84,902	9,500
	人件費計	670	730	2,920
	正規（人）	0.10	0.10	0.40
その他経費		0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	（都）駅前中央通り線整備のため、図書作成、測量、予備設計を実施しました。	（都）駅前中央通り線整備のため、土地区画整理組合に公共施設管理者負担金を支払いしました。 歩道橋整備のため、予備設計を実施しました。	（都）駅前中央通り線整備のため、土地区画整理組合に公共施設管理者負担金を支払うほか、詳細設計を実施します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404015 区画整理課組合支援係
事務事業 03609 道路新設改良（三河安城駅南地区）

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
事業進捗率（事業費ベース）	%	1.00 0.51	18.00 19.72	36.39 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市道の整備であり、市による事業実施が必要です。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	駅へのアクセスの向上、自転車、歩行者の安全確保のため必要です			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	積極的に国、県の補助金を活用して事業を進めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	（ 都 ）駅前中央通り線については、令和 7 年度に愛知県から事業認可を受けることができました。今後は、引き続き組合に対し公共施設管理者負担金を支払うとともに、事業計画に合わせて道路及び歩道橋の設計と工事を実施する予定です。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02265 道路新設改良事業（南明治区画） 電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	005	道路新設改良事業（南明治区画）			
事業期間	平成22年度 ~ 令和 9年度	18 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	道路の利用者が
目的	安全に通行することができるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせ、事業区域から延伸する地区外の都市計画道路等の整備を進めます。
事務内容	南明治第一土地区画整理事業に隣接する道路整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、物件調査・補償、用地買収。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	311,622	108,700	230,908
事業費	292,862	91,180	217,038
国庫支出金	49,522	12,731	103,720
県支出金	0	0	0
地方債	43,800	11,000	36,000
その他	0	0	0
一般財源	199,540	67,449	77,318
人件費計	18,760	17,520	13,870
正規（人）	2.80	2.40	1.90
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	（都）南安城横山線の道路築造工事を実施しました。 （都）南安城横山線の道路築造に関わる用地地権者より用地買収及び物件移転補償契約を実施しました。	（都）南安城横山線の道路築造工事及び道路詳細設計を実施しました。 （都）南安城横山線の道路築造に関わる地権者より用地買収及び物件移転補償契約を実施しました。	（都）南安城横山線の道路築造に関わる地権者より用地買収及び物件移転補償契約を実施します。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 42 分 32 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02265 道路新設改良事業（南明治区画）

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
（都）南安城横山線 家屋移転の進捗率（戸 数）	%	0.00 58.00	83.00 83.00	100.00 0.00
（都）南安城横山線 道路築造の進捗率（延 長ベース）	%	0.00 61.90	74.30 74.30	74.30 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市道の整備であり、市による事業実施が必要です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		交通渋滞の緩和、自転車、歩行者の安全確保のために必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		土地区画整理事業に合わせて進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	南明治第一土地区画整理事業に関連する都市計画道路の整備を進め、残るは南安城横山線の物件移転、道路築造 工事となりました。計画通りに終わられるよう今後も事業を推進してまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001404070 区画整理課換地係

事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	007	南明治第一土地区画整理事業			
事業期間	平成19年度 ~ 令和12年度	24 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。また、美しい市街地景観が形成され、都市機能の整備も図られて、土地利用を増進させることができますようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。なお、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	南明治第一土地区画整理事業の換地に関する仮清算、仮換地変更、使用収益開始、証明書発行、審議会・評価委員会の開催等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	636,234	294,571	930,866
事業費	608,094	260,991	891,446
国庫支出金	167,607	57,571	270,858
県支出金	7,500	0	0
地方債	121,000	46,000	191,000
その他	11	1	201,302
一般財源	311,976	157,419	228,286
人件費計	28,140	33,580	39,420
正規（人）	4.20	4.60	5.40
その他経費	0	0	0

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
【事務事業活動実績】	仮換地指定面積 4,723㎡ 建物移転戸数2戸 道路築造延長308m	仮換地指定面積 9,109㎡ 建物移転戸数0戸 道路築造延長38m	出来確認測量面積 82,532㎡ 町名町界検討 電線共同溝490m

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 8年 8月12日
15時42分43秒

評価年度 令和 7年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
家屋移転の進捗率（戸数）	%	0.00 99.68	100.00 100.00	100.00 0.00
仮換地指定の進捗率（面積）	%	0.00 93.80	100.00 100.00	100.00 0.00
道路築造の進捗率（延長ベース）	%	0.00 97.10	97.90 100.00	100.00 0.00
水路築造の進捗率（延長ベース）	%	0.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	既成市街地のせいびであり市が事業を実施する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	平成18年に末広・花ノ木から事業促進陳情書が提出されています		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	事業費ベースの進捗率は86.4%で順調に進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	住宅市街地総合整備事業と合併施行を実施しました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	仮換地指定が完了し、残るは換地処分、電線共同溝及び歩道修景の工事となりました。計画通りに終わられるよう今後も事業を推進してまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

3 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 42 分 43 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	008	南明治第三土地区画整理事業			
事業期間	平成29年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、都市機能の整備が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されて、土地利用を増進させることができますようになります。
手段	土地区画整理事業により道路等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	南明治第三土地区画整理事業の換地に関する仮清算、仮換地変更、使用収益開始、証明書発行、審議会・評価委員会の開催等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	14,740	66,538	177,098
事業費	0	40,988	153,008
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	40,988	153,008
人件費計	14,740	25,550	24,090
正規（人）	2.20	3.50	3.30
その他経費	0	0	0

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
【事務事業活動実績】	区画整理の事業化を行う	換地設計、建物補償調査、事業計画変更図書の作成	仮換地指定、建物補償調査、公共施設管理者負担金の覚書締結、減価用地の取得

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 8 年 8 月 12 日
15 時 42 分 43 秒

評価年度 令和 7 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
家屋移転の進捗率（戸数）	%	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
仮換地指定の進捗率（面積）	%	0.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00
事業計画関連図書の作成	%	0.00 0.00	100.00 90.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2	理由	既成市街地の整備であり市が自ら実施する必要があります。	
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
3	理由	H15に区画整理事業施行区域として都市計画決定されています。	
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	2
4	理由	事業計画変更及び実施計画の事前協議に時間がかかりました。	
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5	理由	事業計画変更及び実施計画の認可手続きを進めています。	
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
	理由	事業計画及び算定基準に基づき実施する事業です。	

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	安城幸田線南側約1.1haの区域において、令和7年3月に事業計画を定め、早期に土地利用が図られるよう、現在仮換地指定に向けた手続きを進めております。今後も土地の有効利用・高度利用を推進し、安全で快適な居住環境の形成と都市機能の誘導を図ってまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。